

中小企業・小規模企業の振興に向けて

水谷 隆 議員
(自民みらい/いなへ市員弁郡選出)



問

「三重県中小企業・小規模企業振興条例案」における「三重県版経営向上計画」の認定制度とは、どのような制度なのか、お伺いします。



また、中小企業などの現場からは常に資金調達の難しさを聞きしますが、本条例の制定を踏まえ、中小企業などに対する資金の円滑な供給をどのように図っていくのか、お伺いします。

答

経営課題の抽出や解決に向けた取り組みなどを、それぞれの段階に応じて計画認定するとともに、課題解決に精通した人材を県内に配置し、商工団体と連携して支援を行います。

また、新たな無担保保証制度を活用した「みえ経営向上支援資金」を設けるなど、資金供給の円滑化を図っていきます。

その他の質問事項
○攻める農政、守る農政 ほか

新しい障がい者雇用

小島 智子 議員
(新政みえ/桑名市桑名郡選出)



問

障がい者雇用の新たな仕組みづくりの中核を担う場として設置するステッパアップカフェ(仮称)は、雇用支援の場として継続していくことが必要であり、先進的な取り組みも取り入れるべきと考えますが、運営主体は誰が担うのですか。

また、だれがそこで働くのか、どのような仕組みを作っているのかに結び付けていくのかについてもお聞かせください。

答

運営主体は公募を行い、事業の提案内容を審査して選定します。

カフェで働く障がい者は、「福祉から就労へ」の移行を目指している意欲の高い方々を想定しており、実習訓練などに取組むほか、就労後も安心して働くことができ、途切れのない支援が受けられるよう、関係支援機関と連携を図っていきます。



その他の質問事項
○少子化対策に関して ほか

水産業と福祉の連携による障がい者の働く場の拡大

中村 欣一郎 議員
(自民みらい/鳥羽市選出)



問

障がい者の自立支援に向け、働く場の拡大が求められています。農業と福祉の連携をよく聞きますが、漁業にも多くの可能性があると感じています。

県職員の創造的な改善の取り組みを発表する「MIE職員力アワード発表会」において、水産業と福祉の連携についての発表がありました。その内容と今後の展開についてお聞かせください。



水福連携による真珠養殖資材の作製

答

障がい者に担っていただけの作業の洗い出しなどを通じて、志摩地域で、障がい者による真珠養殖資材の作製や鮮魚販売などの取り組みが実現しました。

今後水産分野と福祉分野との情報共有を強化するとともに、関係機関の協力も得ながら、水福連携についてさらに調査研究していきます。

その他の質問事項
○観光面での大雪災害対策 ほか

車と公共交通機関が共存できる交通政策を

辻 三千宣 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問

伊勢市では遷宮効果により観光客が急増していますが、パーク・アンド・バスライドの取り組みが渋滞解消に一定の効果あげています。今後の高齢社会や20年後の次期遷宮を考えると、県内各地域のまちづくりを進める中で、車と公共交通機関が適切なバランスで共存できる交通政策を県全域に広めていくべきではないかと思いますが、県の所見をお聞かせください。

答

20年後を見据えた本県の交通に関する方向性を示す「三重県総合交通ビジョン」を策定中であり、地域公共交通の維持・確保や、車と公共交通機関の適切なバランスを図ることを目的とするモビリティ・マネジメントの普及啓発などを、今後の交通政策における重要な課題ととらえ、検討を進めていきます。



直行レーンを走るシャトルバス(伊勢市)

その他の質問事項
○全国学力・学習状況調査の結果に対する県の対応 ほか